KINIAS ニューズレター

2024. 9. 30

近畿産業考古学会

The Kinki Industrial Archaeology Society

第 140 号

目次

１．「畝傍駅の 130 年を振り返る連続講演会」
第２回講演会のお知らせ・・・・・１
２．神戸市灘区の歴史的建造物と鉄道･産業遺産の見学会
・・・・・２
３．神鋼鋼線工業：伸線･ワイヤロープ製造工程
の見学会（予告）・・・・・２
４．2024 年度年次大会（予告）・・・・・・・・・・・２
５．学会誌『近畿の産業遺産』第 19 号 原稿募集・・・２
６．「畝傍駅の 130 年を振り返る連続講演会」
第１回講演会を聴講して・・・・・寺島俊之・・・２
７．【お知らせ】「ヨドコウ迎賓館 夜の特別見学ツアー」
が開催されます・・・・・・３
８．学会誌の電子ジャーナル公開について・・・・・・３
９．2024 年度第２回役員会議事録 ・・・・・・・・・４
10．入会者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

「畝傍駅の 130 年を振り返る連続講演会」 第２回講演会のお知らせ

JR 畝傍駅舎は，今年２月の橿原市長による無償譲渡の受け入れ表明を受けて，保存活用に向けて動きが出始めています．これを機会に，地元で，畝傍駅について多面的な理解を深めるため，連続講演会が開催されています．第１回講演会は，９月 16 日(月・祝日)に開催され，畝傍駅を含む橿原周辺の鉄道路線や駅の変遷について，中山嘉彦氏（近畿産業考古学会 会長）による講演がなされ，盛況のうちに終わりました．詳細は，本号掲載の聴講記事をご覧下さい．

第２回講演会は，奈良県立橿原考古学研究所の北山峰生氏をお迎えして，下記の通り，開催されます．

■第２回講演会

日時：10 月 20 日（日）
13：00 開場，講演 13：30～15：00（質疑応答，約 30 分）
15：30 終了

会場：内膳町すみれホール ５階大会議室
〒634-0804 奈良県橿原市内膳町１丁目 2-24

講師：北山峰生氏（奈良県立橿原考古学研究所 調査第一係長）

講演題目：「畝傍と橿原をめぐる近代史」

主催：NPO 法人八木まちづくりネットワーク，NPO 法人大和八木まち創り会

協力：近畿産業考古学会

※申込不要，入場無料（先着順）．詳細は「八木まちづくりネットワーク」HP 中の下記チラシをご覧下さい．
https://www.kazabito.com/npo_history/240802_unebieki.pdf

周知の通り，現在の畝傍駅は，紀元 2600 年記念事業に合わせて 1940(昭和 15)年に立て替えられました．この事業では，橿原神宮や畝傍御陵の整備，土地区画整理，鉄道･道路の付け替えや整備，畝傍御陵の整備などが行われ，八木から橿原神宮にかけて街並みが大きく変貌しました．

橿原神宮の拡張やその外苑の整備では，各種のスポーツ･文化施設が設置されました．大運動場，野外講堂，宿泊施設などからなる橿原道場，橿原文庫，大和国史舘などです．それらの「レガシー」の多くは戦後も受け継がれ，利用されてきました．大和国史館は，橿原考古学研究所附属博物館となって今に受け継がれ，橿原考古学研究所自体も整備事業に伴う遺跡調査を契機に設立されています．

この他，橿原神宮へ向かう参拝道路へは国道 15 号が延伸・接続され，戦後は，国道 24 号として，奈良県内を縦断する重要な幹線道路となっています．

今回の講演会では，これらの事業が実施された経緯や背景について，「生活のごく身近にある歴史」を振り返っていただきながら，お話をいただきます．

神戸灘区の歴史的建造物と鉄道･産業遺産の見学会

神戸市東部の灘区(一部中央区)を中心に，歴史的建造物と鉄道遺構，および神戸製鋼所の初期事業所跡をめぐる．

旧摩耶観光ホテルは，1929(昭和 4)年竣工，1990 年代に閉鎖された．摩耶鋼索鉄道(現･神戸六甲鉄道，1925(大正 14)年開業)の福利厚生施設として開設，戦前戦後はホテルとして営業，戦後の一時期，学生向け合宿所として利用された．「廃墟」状態であるが，登録有形文化財として認められた．

旧ハンター住宅は，1907(明治 40)年頃，大阪鐵工所(現･日立造船)の創業者で英国人実業家の E. H. ハンター(Edward Hazlett Hunter)が購入，神戸市中央区北野町に移築，改造したもので，1963(昭和 38)年，現所在地に移築された．

神戸文学館の建物は 1904(明治 37)年に，関西学院の初代チャペルとして建設された．神戸ゆかりの文学作品が展示されている．企画展「生誕 120 年神戸文学館の軌跡 原田の森と歩んで」が開催中．

阪神急行電鉄(現･阪急電鉄)は 1920(大正 9)年，神戸線を開業，現在の中央区坂口通 2 丁目に神戸駅を開設した．1936(昭和 11)年，新たに三宮に神戸駅(現･神戸三宮駅)を開設，新たなターミナル駅とした．そして，旧線を支線の**上筒井線**とし，分岐点に西灘駅(現･王子公園駅)を開設した．アーチ型の高架橋・**原田拱渠**が駅西側に建設された．

阪神急行電鉄の新旧神戸線の変遷や摩耶鋼索鉄道の開業は，大正・昭和戦前期の交通網の発展の中で，現在の阪神・阪急間で繰り広げられた阪神間旅客輸送や六甲山リゾート開発をめぐる熾烈な競合の歴史を物語るものである．

神戸臨港線は，神戸市内にあった東海道本線の貨物支線の通称である．東灘信号場(現･JR 摩耶駅)から分岐して神戸港駅へ向かっていた．神戸港の発展とともに拡大したが，コンテナ輸送の発展に伴って衰退し，最後に残った神戸港駅も 2003(平成 15)年に廃止された．沿線にあった神戸製鋼所旧本社跡・山手地区跡も訪れる．

開催日：10 月 12 日(土)

集合：摩耶ケーブル線「摩耶ケーブル」駅，13：00

「摩耶ケーブル駅」へは「坂バス」が便利．「JR 灘駅南」バス停発 12:20，12:40(20 分ごと)，「阪急王子公園」(北向き)バス停発 12:22，12:42(同じバス)．

主な見学先：旧摩耶観光ホテル(登録有形文化財，内部見学)，摩耶ケーブル線，阪急上筒井線軌道跡･原田拱渠(拱橋)(選奨土木遺産)，旧ハンター住宅(重要文化財，神戸市立王子動物園内，内部見学)，神戸文学館(旧関西学院ブランチ・メモリアル・チャペル，登録有形文化財，内部見学)，「神戸製鋼所発祥の地」(石碑)，神戸臨港線跡など．

JR「灘」駅前で 17:00 頃にいったん解散，神戸臨港線跡・緑地公園はオプション見学とする．

費用：資料代；500 円，旧摩耶観光ホテル見学料(寄付)；1,000 円，摩耶ケーブル運賃(往復)：780 円，坂バス運賃；230 円(支払いは現金またはクレジットカード･タッチ決済のみ)，王子動物園入園料；600 円(神戸市在住の 65 才以上の方は無料，旧ハンター住宅の見学に必要)

参加希望者は 10 月 9 日(水)までに事務局宛にメールか FAX でお申し込み下さい．先着 18 名(会員および学会関係者に限定，担当役員を除く)とします．

※旧摩耶観光ホテルの見学時はヘルメットを着用します．当方で用意しますが，少々汚れているものもありますので，個人でおもちの方はご持参ください．

写真 1　旧摩耶観光ホテル（提供：J-heritage）

写真 2　旧ハンター住宅（撮影：岡田広一）

写真 3　神戸文学館（撮影：二階堂達郎）

写真４　神戸臨港線跡・架道橋跡（撮影：二階堂達郎）

神鋼鋼線工業：伸線･ワイヤロープ製造工程の見学会（予告）

伸線業・ワイヤロープ製造業と製造技術の歴史，PC 鋼材の用途と製造技術などをテーマに見学会を開催します．

神鋼鋼線工業(株)は，尼崎市に本社を置く，線材二次製品の製造･販売会社です．PC 鋼線事業（PC 鋼材(プレストレスト・コンクリートに緊張剤として使われる鋼材)，鋼線，特殊金属線など），ロープ事業(ワイヤーロープ)，エンジニアリング事業，ばね特殊線事業(ばね，ボルト用線，ステンレス線，特殊線)を展開しています．1917(大正 6)年，尼崎市で設立された乾鉄線(株)(後に日本鉄線鋼索(株)に改称)を 1943(昭和 18)年に神戸製鋼所が買収，1954(昭和 29)年，神戸製鋼所から尼崎工場が分離して設立されました(当初社名は，神鋼鋼線鋼索(株))．

ロープ事業部ロープ製造所二色浜地区の工場で，伸線工程及びワイヤロープ製造工程（ストランディング＆ローピング）を見学します．

開催日：11 月 20 日(水)

集合：南海本線「貝塚」駅・改札口，12 時 45 分
12：22，47 着の電車あり．
水間鉄道バス（コスモスライナー）「南海貝塚駅東口」バス停 13：00 発のバスに乗車（「商工会議所前」バス停で下車，徒歩約 10 分），運賃：320 円．

見学先：神鋼鋼線工業(株)ロープ事業部ロープ製造所二色浜地区
（大阪府貝塚市二色中町 11 番 1）

見学時間（座学を含む）：約 3 時間

※次号でより詳細にお知らせします．**申込は，必ずその後にお願いします**．

2024 年度年次大会（予告）

開催日：12 月 7 日(土)，午前中：見学会，午後：特別講演会・研究発表

会場：尼崎市立歴史博物館

見学先：未定

研究発表講演者を募集します．

※詳細は次号でお知らせします．

学会誌『近畿の産業遺産』第 19 号 原稿募集

『近畿の産業遺産』第 19 号の原稿を募集します．多くの会員の投稿をお待ちしています．奮ってご応募下さい．資料の紹介など，論文形式ではないものでも結構です．

・**申込締切日**：
論文（査読付き）；2024 年 12 月 31 日
調査報告・研究ノートなど，論文以外；2025 年 2 月 28 日

「畝傍駅の 130 年を振り返る連続講演会」第 1 回講演会を聴講して

寺島俊之

・開催日:2024 年 9 月 16 日(月・祝日)　13:30～16:00
・会場：橿原市役所分庁舎「ミグランス」4F コンベンションルーム
・講師：中山嘉彦氏（本会会長）
・題目：「畝傍地方の鉄道史―各路線・各駅の変遷―」

写真　中山会長による講演の模様(撮影：寺島俊之)

講演に先立ち，主催者側より河合正氏（NPO 法人八木まちづくりネットワーク理事長）並びに二階堂達郎氏（本会前会長）による開会の挨拶があった．畝傍駅は橿原市による保存が確定し「民間活用提案募集」の段階にきている．今回実施する連続講演会が畝傍地方の街づくりに役立つことが開催の趣旨である．

吉野鉄道は数回の路線延伸によって吉野口駅から畝傍駅までの区間を 1924（大正 13）年に開通させた．途中駅の旧橿原神宮前駅は現在の橿原神宮第一鳥居前広場にあり，平端駅から同駅まで 1923(大正 12)年にすでに開通していた大阪電気軌道と乗換可能にした．畝傍駅の広大な用地確保は吉野鉄道が実施した．貨物の収支では，木材は大正･昭和期とも到着量≒発送量に対し，石材では大正期に到着量＞発送量である．到着した石材の用途は今後の調査による．

1940(昭和 15)年は橿原神宮の御鎮座 50 年と皇紀 2600 年にあたり国を挙げての奉祝記念事業が実施された．境域の拡張と外苑の建設に伴い，土地区画整理と道路整備やスポーツ・文化施設が建設された．鉄道における付替区間は八木西口駅から久米寺駅で，久米寺駅には大阪鉄道（現在の近鉄南大阪線）と吉野鉄道（現在の近鉄吉野線）が乗り入れており，橿原神宮駅へ改称し駅舎を新築した．橿原神宮駅は 1970(昭和 45)年に現在の橿原神宮前駅へ改称している．一方，畝傍駅にも貴賓室を備えた建物が新築された．

今回の調査では駅名や路線名で伝承と異なる史実を発掘した.命名から当時の人々の様々な思いに関心を寄せることも歴史を学ぶ上で大切と結んだ.

【お知らせ】

「ヨドコウ迎賓館 夜の特別見学ツアー」が開催されます

ヨドコウ迎賓館（国指定重要文化財･山邑家住宅）の竣工100周年記念事業として開催されます.

・開催日時： 11月22日(金)・29日(金)，18時～20時
・定員：40名（参加費無料，高校生以上）
・申込方法：「申込フォーム」，または「はがき」
・申込期限：10月1日(火)～10月17日(木) 17時
・問い合わせ先：芦屋市企画部国際文化推進室国際文化推進課（〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6，TEL：0797-38-2115）
※詳細は「芦屋市」HP中の下記URLをご覧下さい.
https://www.city.ashiya.lg.jp/gakushuu/bunkazai/yodokougeihinkan100th.html

学会誌の電子ジャーナル公開について

科学技術振興機構(JST)より提供された2024年7，8月分のアクセス統計（クローラーによるアクセスを除外)の概要です.

・2024年7月（公開論文数：26）：
書誌事項へのアクセス数：合計 275回
全文PDFへのアクセス数：合計 301回
（アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；30 回，全文PDF；69回)
・2024年8月（公開論文数：26）：
書誌事項へのアクセス数：合計 302回
全文PDFへのアクセス数：合計 437回
（アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；34 回，全文PDF；86回)

2024年度第2回役員会議事録

日時： 2024年7月20日(土)，13：00～16：00，大阪学院大学17 号館 1 階レセプション A（対面）
参加者：中山会長，岡田副会長，貝柄幹事，寺島幹事，二階堂幹事，溝口幹事
議事：
１．前回役員会議事録の承認
２．「畝傍駅&鉄道連続講演会（仮）」
［第 1 回講演会］
・日時：9月16日(月祝)，開場 13：00
・会場：橿原分庁舎「ミグランス」4 階コンベンションルーム
・講師：中山嘉彦氏，講演題目：未定
［第 2 回講演会］
・日時：10月20日(日)，開場 13：00
・場所：内膳町自治会館すみれホール 5 階多目的ホール
・講師：北山峰生氏（奈良県立橿原考古学研究所指導研究員），講演題目：未定
主催：NPO 法人八木まちづくりネットワーク，NPO 法人大和八木まち創り会，本会は後援または協力.
３．2024年度年次大会
開催日時:12月7日(土).ハイブリッド方式で開催.
会場・講演：未定，テーマ：伸線，ボイラが候補に挙がる.
４．見学会
「津田電線と伏見･電気事業関連遺産」(7月7日(日))
参加者数：14 名．暑さ対策のため，7 月実施はできるだけ避けるべきとの意見あり.
［次回見学会］
神戸市内の見学会を10月に実施．旧摩耶観光ホテルや灘浜サイエンススクエアなどが候補に挙がる.
５．学会誌電子ジャーナル公開（報告）
６．学会誌18号原稿
提出状況の報告あり
７．ニューズレター139号
7月下旬に発行予定.
８．調査・研究について（報告）
９．学会誌19号
伸線業を特集する提案と原稿についての報告がなされ（溝口幹事），意見交換がなされた.
10．その他
産業遺産学会の動向の報告（中山会長），旧長壽會細菌研究所工場跡の報告
次回役員会(オンライン)：9月11日(水)，19：00～

入会者

（敬称略，◇：関心のある分野）
増山　聖子（マシヤマ　マサコ）
◇河川（河川構造物，技手，工手），その他産業のの技術史，技術教育史，地場産業，図面・地図資料ほか近世・近代資料

2024年9月30日発行
編　集　近畿産業考古学会　編集委員会
発　行　近畿産業考古学会　会長　中山嘉彦
URL：http://kinias.jp
事務局　564-8511　大阪府吹田市岸部南2丁目36番1号
大阪学院大学　経済学部　中山嘉彦研究室気付
Tel：06-6381-8434（代），Fax：06-6382-4363（代）
E-mail：kinias-ec@nifty.com
会費納入先(郵便振替)
口座番号：00950-9-150085，加入者名：近畿産業考古学会